

第8回 ボランティア＝ふれあいの集い・交流会

こだま会 小磯清光

11月23日の河北新報に「芸の達人100人集結」と掲載。福祉プラザは予告をオーバーし、平日に係わらず11時の開演から満席。拍手と時には涙を交えての応援で閉演を延長。成功裏の終了には感謝ばかりでした。

「こだま会」とは、月に5～10回程度、仙台市内・川崎町・名取市・多賀城市・鳴瀬町等にある介護施設のデイケアホーム・養護老人ホーム・町内会集会所等よりの依頼を受けて、日本舞踊・琉球舞踊・フラダンス・歌謡曲・シャンソン・民話の語り・手品・腹話術・ハーモニカ・マンドリン・ギター・オカリナ・民謡等広範囲に演目を持ち、プログラムを準備して訪問させて戴いております。訪問先への交通費、食事代は全て演技者負担で賄っています。それぞれ達人は、指導者・会主・師範・保存会の先生・大会での優勝者・ハーモニカ・ギター・オカリナ等は客席に入り込んだりとリクエストに答える等、全て演じる方々が生み出した芸の発表で好評です。

こだま会は会発足44年、来年は活動の節目として印象に残るイベントを考えています。



あいちゃん
まっぴいるネ!!

第8回 芸能ボランティア ふれあいの集い・交流会

(こだま会44周年記念)

と き：2008年11月25日(火) 午前10:30開場 11時開会
(舞踊・歌謡・マジック・コーラス・コール・マーガレット・安来節ほか)
2008年11月26日(水) 午前9:30開場 10時開会
(民話と語り・ハーモニカアンサンブル・朗読など・マジックショー)

車いす席あり

招待券

と ころ：仙台市福祉プラザ2階ふれあいホール

めぐりあい
あなたにめぐり
あえたほらめぐり
ひかたつた
ひかりでま
ミミから
ひとがあらば
あつた



(2007.10.31記念)

主催：芸能ボランティアのつどい実行委員会・ボランティアサークルこだま会・北日本児童文化協会
後援：宮城県・(財)仙台市民文化事業団・仙台市社会福祉協議会・宮城県社会福祉協議会・河北新報社・各ボラ連

第11回東京都・町田発「国際ボランティア祭り」研修報告

(2008・11・2)



各国より 各国の香りがする
バザー製品が並んでいく

「この星に平和と希望を」テーマとした第11回町田発国際ボランティア祭・夢広場を自己研修の一貫として訪問。「まちの駅・ぽっぽ町田」では国際交流・国際協力で活動する市民団体・ボランティア・社協・町田青年会議所を始め国際交流センター等が一体と成って世界平和の願いを心で開催された活動の現場を見、大変勉強に成り感動してきました。

総ての人が「夢」を持てる世界になる様な町作りの行動こそ必要な事を痛感しました。活動の仲間であった故菅野鞠子さん(仙台出身)が町田市で始めて「市民サロン」を作り、ボランティアのネットワーク作りと育成に寝食を忘れ貢献された事が今、生きている事を知らされました。自分をを主張する勇気と同じ目的に対し、一貫した徹し方で共同体に成って行動を起こす努力をする必要性を強く感じました。20日後に控えた「芸能ボランティアふれあいの集い」の成功を心に決めて、帰仙した私でした。